



平成29年 4月13日

各 位

会社名 株式会社ダスキン
 代表者名 代表取締役社長 山村 輝治
 (コード番号: 4665 東証第一部)
 問合せ先 取締役 内藤 秀幸
 電話 06-6821-5071

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図ることを目的として、取締役会全体の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法及び評価結果の概要

- (1) 取締役会は、すべての取締役、監査役に取締役会全体の実効性に関する分析・評価を実施する趣旨等を説明、理解を得た上で、アンケートを実施いたしました。

実施期間	平成29年 1月19日～平成29年 1月27日
評価対象期間	平成28年 4月～平成29年 1月に開催した当社取締役会 (全21回)
アンケート質問概要 (大項目)	①構成 ②運営 ③取締役・監査役に対する支援体制 ④トレーニング ⑤株主(投資家)との対話 ⑥自身の取り組み ⑦総括

- (2) 第三者機関によるアンケート結果集計の後、取締役会から委任を受けた「社外役員会議」(すべて独立役員に指定している社外取締役3名、社外監査役3名で構成される会議)が、集計結果を基に、対象期間における取締役会の取り組みについて多角的視点から分析・評価を実施し、取締役会に対して提言を行いました。

分析・評価実施期間	平成29年 2月14日～平成29年 3月 8日
取締役会の実効性について	社内社外を問わず各取締役から自由闊達な発言があり、十分な審議を基に決裁されており、概ね実効性は確保されている。また、実効性向上に向けた取り組みにも努力している。 ただし、改善を検討すべき点もあるとして、一層の実効性向上に向けて社外役員会議から提言があった。
対象期間の取締役会の取り組みについて	①取締役評価制度を設ける等、取締役の選・解任手続き、プロセスの客観性・透明性向上に取り組んでいる。 ②整理された論点を基にした十分な議論によって結論を得るために、判断が難しい案件については討議のみを目的とした審議を取締役会で実施した上、次回以降の開催時に決裁する仕組みが設けられた。 ③社外役員に対して事前説明を行う等、審議に必要な情報提供に取り組んでいる。 ④その他にも、議論・審議時間の充実を図る努力等、実効性向上に取り組んでいる。

- (3) 社外役員会議からの提言を受けて、取締役会の更なる実効性向上に向けて、次期に取り組むべき事項に関する議論、討議を実施いたしました。

2. 今後の取り組み

当社取締役会は、今後も取締役会全体の更なる実効性向上を目指した不断の議論を継続してまいります。次期平成30年3月期につきましては主に以下について取り組んでいくことといたします。

平成30年3月期 取り組み課題	①取締役の員数、構成等の再検討 ②コーポレートスタッフ機能の再編・強化の検討 ③代表取締役を含む取締役の選・解任プロセスの更なる客観性・透明性の向上 ④企業価値向上に健全なインセンティブとして機能する役員報酬制度の検討 ⑤平成29年3月期の取り組みの継続
--------------------	---

以上

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

株式会社ダスキン 広報部 電話06-6821-5006